

第6号

北見商工会議所青年部広報紙



トライ



第16回北海道ブロック大会北見大会 認証書授与式 (9/14)

2002年 北海道ブロック大会北見大会 実行委員長決定!!

12月

プロジェクトチーム発足!!



北見商工会議所青年部事務局 〒090-8710 北見市北3条東1丁目 北見経済センター内  
TEL(0157)23-4111・FAX(0157)22-2282 E-mail syokokaci@okhotsk.or.jp

北見商工会議所青年部

会長 舛川 誠



九月から十一月にかけて全道ブロック大会留萌大会、帯広での道東地区協議会合同例会、北見が主管した近隣青年部交流会、大阪での全国大会の開催と対外的にも青年部活動が忙しい時期となりましたが、多くのメンバーのご参加・ご協力をいただき先ずは心から感謝を申し上げます。さて、本年度の北海道ブロック大会は留萌YEGの主管で終了し、いよいよ次年度「第十六回北海道ブロック大会」は北見YEG主管のもとで開催されます。

思いがなければならぬと思っております。これから我々が主管準備に費やす時間は計り知れませんが、本大会を通して我々が得る事、経験は数え切れない程の価値があり、必ずや会員個々のレベルアップ、YEGに対する意識の向上に繋がります。今後の青年部活動、運営にも役立つものと確信しております。また、会員同士が「もっと語り合い」「もっと互いを知り合い」「もっと認め合おうこと」ができた時に、今まで以上に強固で存在意義のある組織になるはずですので、今大会が全道会員に北見の街の魅力発信し、地域経済に対する波及効果、更には地域社会において北見YEGの認知度を高め、ひいては会員拡大にも繋がります。きっかけになると思われます。

去る九月十四日「第十五回北海道ブロック大会留萌大会」に参加させていただきました。二日間の日程でしたが私は一日目の記念式典・記念講演・大懇親会に出席いたしました。記念式典では、大協商青連会長による「皆さん、元気ですかー」の一声で会場がどよんと盛り上がり、皆の緊張が一気に解れ、参加者全員がひとつになつていったのが、今でもよく覚えています。記念講演では、講師 北海道大学大学院法学部教授 山口二郎氏により、「この厳しい経済状況、社会環境が大きく変化する中で皆さん青年経済人の役割を認識し、研鑽すること大切なこと」と教訓を頂きました。そして大懇親会では、太鼓に始まり、新鮮な海の幸、味わいのあるポリウム満点のカクテル、出て来るものすべて驚きと感激の物ばかりでした。ステージでは各単会より熱い思いのPR合戦に圧倒され、率いる三十名で新米ながら元氣なところをPRして参りました。一日間の心配りが参加した主催者側の心配りが参加した主催者側でした。この経験を活かした大会で、北見開催の北海道ブロック大会に向けて少しでも参画しようと考えています。

商工会議所青年部 北海道ブロック大会報告



視察委員会副委員長 近藤 晋

全国商工会議所青年部連合会 第22回全国大会大阪大会報告



全国大会に参加して… 事務局 松原 英行

去る十一月七日より十日にかけて第二十二回全国大会が立ち止まるな！そして胸を晴れ！ YEG's be ambitious! のテーマのもと大阪府商工会議所青年部連合会主管により開催され、北見YEGより外川会長、西村副会長、酒井事務局そして私の四名で参加してまいりました。こんな時代に、過去最高の登録(四、五〇三名)を集めたのは、大協会長が全国を行脚している中で訴えてきた標記のテーマの集大成がこの大阪の地であり、また大阪のYEGメンバーのブロック各地でのPRもかなり貢献していたと思われ。講演会では、マスコミシャットアウトでかなりすべりのよい長島節を聞くことができ、長島スピリットは、全国会員に伝わった事と思います。エクスカイションの全国麻雀大会では四十四名の参加者の中で西村副会長が見事優勝！翌日の浪速ドームの入り口に「麻雀全国優勝 北見YEG 西村清一君」と写真つきで張り出され北見にとつてまたとないPRの機会を得ることができました。全体を通して、大懇親会での四五〇名のでつちり、長島茂雄の講演、空港、地下鉄駅、などいたるところに「熱気」と「明るさ」とおもてなしの心を感ずる大会であった。

道東地区協議会合同例会報告



研修委員会 伊東 隆志

九月二十八日(土)、北海道商工会議所連合会の「道東地区協議会 合同例会」が帯広YEG主管により開催されました。参加単会は、網走、遠軽、美幌、釧路、根室、帯広で、北見YEGからは外川会長始め六名が参加し、回枝道青連会長を含め総勢四十六名の仲間との交流を深めるとともに、来年、北見で開催する全道大会のPRをして参りました。信州大学(環境設計学、政治社会学専攻) 山本哲士教授の「地域から場所の設計へ」と題した講演に続き、「地域の自立」をテーマとして山本教授に日本政策投資銀行行政企画部次長 前田正尚氏、㈱デジタルメディア研究所代表 橋川幸夫氏を加えた三名でのパネルディスカッションが開催されました。このなかで、帯広での成功事例「原台村」の発表があるなど、パブル崩壊後の日本経済の中で企業を発展させるには、効率性を追求することだけではなく、居心地の良さをアピールする時代がやってきていることを実感した次第であります。YEGは、「異業種を生かした地域活性化への取り組みも然ることながら、地域同士が連携して発展していくことも考えねばならない」という事を知る良い機会となりました。

## 第十六回北海道ブロック大会 北見大会実行委員長 鈴木 達裕



第16回北海道ブロック大会  
北見大会まで約10ヶ月

十一月十二日に開催された臨時総会にて、第十六回北海道ブロック大会北見大会の実行委員長としてご承認いただき、誠にありがとうございます。私には、自分が受けるべきではない。と思ひ、ひじょうに悩み、何度となく自分の気持ちや思いと葛藤いたしました。しかしながら、ご承認をいただいた以上は、もうやるしかありません。メンバーの皆さんも、私を選んで以上は逃げられません。いや、逃がしません。今は、そんな意気込みであります。

私は北見YEG初代会長としてメンバー全員に支えられながら、何とか一年半の任期を務めさせていただけました。また、様々な団体でたくさんの方を経験させていただき、得たものは「感動」と「自信」でありました。組織が一つの目的に向かつて突き進むとうまく、人々とのぶつかり合いや、悩みや、苛立ちや、ジレンマが必ず大きくなって分厚い壁となつて立ちあはだか

ります。またその逆に、新しい仲間達との友情が生まれ、古くからの付き合いをしてきたつもりが、仲間の知り得なかつたところが見えたりします。また更に、自分一人の力の弱さを感じる事もあります。組織が一つの大きな目的を達成するためには、人間と人間との語り合いや、求め合いがなければ成功に近づき、事がないのではありませんか。その汗や涙が、感動という笑顔や涙に変わり、その達成感が自信に変わっていくのではないのでしょうか。

私は今まで、たくさんさんの色々な経験をさせていただきまし。私は実行委員長として、ブロック大会の成功を目的にするのではなく、北見YEGメンバー全員に「感動」と「自信」を手に入れてもらう事を目的に二〇〇三年九月二十日（二十一日）まで最後の力を振り絞り、精一杯務めていきたいと思います。

その事が必ずや第十六回北海道ブロック大会北見大会の成功に繋がる道標だと確信しております。

北見YEGメンバーには、波瀾に満ちた十ヶ月になるかと思ひますが、一分一秒見逃す事なく参画していただき、大事を心よりお願い申し上げます。実行委員長を務めさせていだだくに当たつての挨拶と致します。

皆さん、よろしくお願い致します。

## 滝川YEG創立10周年 記念式典に参加して



副会長 西村 清一

十一月十六日滝川YEGの創立十周年記念式典に参加をしてまいりました。

参加された方が意外と少ない事に驚きました。滝川YEG関係者が七割近く滝川市長を始めとして来賓の方々数名、他YEGメンバーが二期程度、単会数としては近隣YEG以外では帯広YEG、北見YEGの二単会のように見受けられました。

式典では、過去十年間の活動内容の披露があり、発足当時は、百四十名近い会員が集い事業展開をされてきたようです。しかし、現在の会員数は三分の一強の会員数になつて、いるようです。

地域性や経済環境の変化により会員数が大幅に減少したのかもしれない。記念祝賀会では、他YEG会員の方々と交流も深め、来年のブロック大会に向けてのPRもして参りました。又、激励等も頂き、参加の確約も取り付けて参りました。

今回は、三役のみの参加では行りましたが、今後多くの会員の参加に期待を置き、見聞を広めて頂きたいと思ひます。

北見YEGが十周年を迎えるときには、現会員の半数近くが卒業をしていくかと思ひます。そして、私自身も現役員として式典にいない事を思うと寂しい気持ちで帰路につきました。

## 近隣青年部交流会報告

親睦委員会委員長 中川 勝一

本年度の「近隣青年部交流会」を北見YEG主管で十月六日（日）実施いたしました。参加人数は北見、網走、美幌、留辺蘂、遠軽各YEGあわせて総勢四十三名の参加でした。午後一時にホテルおほる四階に集合していただき、開会式を行つたあと、「マージャンチーム」と「ボーリングチーム」にわかれて、お互いに各YEG間の交流を深めました。結果として、「マージャン」は美幌YEGの中川さんが強豪を抑え、見事優勝の栄冠をかちとり、またボーリングの方は網走YEGの白鳥さんが数点差という非常に接戦の末、優勝いたしました。「マージャン」での美幌YEG優勝により、次年度開催予定地は美幌に決定いたしました。その後、四時三十分より「おほる」にて懇親会を開催いたしました。賞を取つた皆さんに対する授賞式開催。また皆さんに一言お話をいただいたりなど非常に和やかな雰囲気では進みました。その後、北見の夜を楽しまれた方もいらしたようです。

振り返ってみると、次年度地区大会を北見YEGで主管する上で非常に小さな規模ではありましたが、良い勉強になったのではないかと感じております。

二〇〇二年度のゴルフサークルは親睦委員会を担当させて頂きました。私は幹事役を仰せつかり、今年二回のゴルフコンペを開催致しました。



北見商工会議所青年部の皆さん、親睦を固るべく、上手な方もそうでない方も（私事です）、「和気満々としくまたメラメラと炎を燃やしな



ら？進められました。二回目のコンペは途中雪がちらついたりとても寒い中でしたが、皆さんの出席をありがとうございました。冬はサークル活動をいと思つております。例会や委員会で見せる顔とは違う部分にふれ合い、また終つた後のお酒も美味しく、きつとよりいっそうの親睦が深められるものと思つてます。ゴルフを始められたばかりと言う方も、マージャンも並べる程度と言う方も、どしどし参加して頂きたいと思ひます。最後に、二〇〇二年度ゴルフサークル幹事として、不慣れな部分も多く申し訳ありません。ご協力ありがとうございました。

親睦委員 岸本りさでした

- |       |        |
|-------|--------|
| 第1回優勝 | 舛川 誠君  |
| 第2回優勝 | 鈴木 達裕君 |
| 準優勝   | 鈴木 達裕君 |
| 準優勝   | 鈴木 達裕君 |
| 準優勝   | 藤井 宏美君 |

例会報告

八月例会 研修委員会



研修委員会がこの一年間を通して実現したいと考えているのは「情報の共有化」。この危機を乗り越える「知恵と勇気」を共有したい」とい思いに他なりません。

四月例会では会員それぞれが何にこだわっているか、「こだわり」を通してそれぞれの経営者の意気込みを実感しました。そのような「こだわり」の中でも最も多くの会員から出されたのが「顧客満足」「顧客第一主義」ということでした。

そこで、八月例会は「顧客第一主義・顧客満足をどうつくるか」をテーマに、会員をバネラーにしてのバネルティスカッションを行うこととしました。バネラーになっていただいたのは、小柳中央堂の近藤智吉会員、北見石油の塩野谷誠一会員、ヒルズバーの平井良紀会員のお三方でした。三人が共通して語っていたことは、価格競争では生残れない現実があり、求められるのは「再びお客さんに指名していただくことだ」ということでした。それぞれ扱う商品やサービスの中は違っても、プラスアルファの価値観を捉供することに腐心している姿は一致したものがありません。またもう一つ重要なことは、顧客と直接に接する「従業員の資質、モチベーションの高さが顧客満足の源である」という指摘ではなかつたかと思えます。

研修委員会委員長 長南 進一

九月例会

親睦委員会



我々、親睦委員会は九月例会において「気軽に誰でも楽しんで、その中で会員相互の親睦を深める企画を」との考えをもとに「親睦ビリヤード大会」を開催いたしました。

今回の企画は大会と懇親会を同時に行い、飲食をしながらビリヤードをするというリラックスした例であったように思います。内容としては会員の方々にくじを引いてペアを組んでいただき、「ネオナインボール」を基本ルールとしたトーナメント制で勝敗を決定いたしました。また逆トーナメントも同時に設け、負け下がつて（？）見事最下位となったペアには「パツゲーム」が用意されており、「激辛マールボード」のイッキ食い「結果としてプロ並（？）の技術をみせた西村副会長、小村会長、小村副会長、小村副会長、小村副会長」となった最下位ペアは「取野委員長・田島会員ペア」で勇ましく激闘マールボードを食べて頂き大いに会場を盛りあげてくれました。「個人的には優勝者決定戦よりも最下位決定戦の方が異様な盛り上がりを見せていたのでないかと思えました。」景品は宇野会員の所より買い求めた野菜等の詰め合わせで、前回は続き、奥様に喜んで頂くことができました。

親睦委員会は「皆さんが気軽に参加でき、より一層の親睦を深める例会」を今後も企画してまいりますので、多数参加を御願ひ申し上げます。

親睦委員会委員長 中川 勝一

十月例会

研修委員会



八月例会を受けて、十月例会のテーマは「自ずと決まりました。それは「従業員モチベーション」を如何に引き出すか」ということでした。

会員を例会講師に手作りで例年初めてきた研修委員会が、今年初めて取組んだ外部講師による例会でした。しかし、単に講演を聴いて終わりの例会にはしたくないとの思いから、セルフチェックやグループワークの手法を取り入れた例会にしようとした。講師の選定に当たりました。講師にお招きした石田邦雄氏は中小企業大学や産能大学、帯広大谷短大の講師としてリサーチや論文やコミュニケーション論を担当されておられる方で、例会の中では会員が5、6人のグループに別れ、コンセンサスゲームに取組みました。石田氏はこの例会のサブテーマを「ポジティブパワーからパワーツナルパワーへ」とされていたのですが、コンセンサスゲームを通して、「先輩・後輩」「役職」といったポジションにこだわって議論を行った場合にはプラスの効果を引き出せないという事実でした。

このコンセンサスゲームでは、「中間管理職がやる気をなくす経営者の行動」に関する調査結果が材料になったのですが、あらためて、経営者あるいはリーダーとしての自己の資質を問い直す例会であつたと思えます。

研修委員会委員長 長南 進一

十一月例会

総務広報委員会



本例会は「一致団結」をテーマに次年度北海道プロロック大会主催への第一歩となる例会として開催させていただきます。

この例会の企画は本年7月臨時総会にて北見YEGが大会主催を立候補した時点から当委員会が開催をしなければいけないと考えておりました。委員会では例会内容の検討を重ね、委員会基本方針にある会員相互の連帯強化につながる例会になると考えました。例会行事の中で留萌大会の記録ビデオにて北海道プロック大会の規模、雰囲気は掴んでいただけたと思います。また、網走YEG松井顧問の講演にて、大会へ向けた今後の単会の動き、そして大会終了後の単会の変化、達成感と感動が想像できたのではないのでしょうか。

そしてその後の懇親会では大いに語り合い盛り上がりその事が今後の動きへ繋がるものと信じております。改めて一人一人が責任と自覚を持ち一致団結のめと大会成功へ向け邁進していきましょう。

総務広報委員会委員長 取野 裕樹

編集後記

はじめに、発行に際し原稿依頼等ご協力いただき誠にありがとうございました。

はいよいよ平成十五年度商工会議所青年部北海道プロック大会北見大会に向け、鈴木実行委員長の選任、プロジェクトチームの結成と、活動が始まりました。今号でも、特集を組み総務広報委員会で掲げたテーマ「一致団結」なればと思つたのですが、あまりの行事の多さに実行委員長の方の言葉のみになつてしまいました。つくづく編集の難しさを思い知らされました。

先日、北見にもやつと雪の便りが届きました。「喜んでくれる方は、あまりないかもしれませんが、ウインタースポーツをしたり、雪まみれになつて遊んだりするのも、結構楽しいものです。」

総務広報委員長 高岡 和宏

次号 第7号は平成十五年四月発行です。

TRYに載せて欲しい記事をお持ちの方は、お気軽に総務広報委員会まで、お知らせください。